



## 山車の巡行

中心市街地周辺には38台の山車があり、日本有数の規模を誇ります。今年は中央地区と北地区、南地区の計11台が巡行します。見どころは、9月3日の午後4時15分からもてなし広場で行う「集結式」と、集まった山車が一同にお囃子を演奏する「叩き合い」。4日午後3時に田町通りで行う「勢揃い」も必見です。高らかに響くお囃子の音色を楽しんでください。

## 夜空を彩る花火

北関東最大級の規模を誇る大花火大会。50分間に次々と打ち上がる約1万5,000発の花火が、夏の夜空を華やかに彩ります。クライマックスに咲き乱れる大輪の花々は、迫力満点です。見どころがたくさん詰まった高崎の花火を、ぜひ堪能してください。

●日時=9月3日(土)午後7時30分~8時20分(荒天のときは翌日)

有料・無料の観覧エリアでの観覧は、入場券が必要です(申し込みは終了しました)。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場券がない人の観覧エリア周辺や路上での観覧は控えてください



## 技能祭と伝統文化

### 技能祭

高崎のものづくりを支える職人たちが、磨き上げてきた熟練の技を披露します。職人から直接指導を受けて行うだるまの絵付けや瓦の彫刻などの体験の他、はしご乗りや氷彫刻の実演など、高崎が誇る匠の技を間近で感じられるイベントが盛りだくさんです。

●時間=午前10時~午後5時 ●会場=庁舎前広場

### 伝統文化

各団体が和太鼓や阿波踊り、木遣を披露。息の合った演奏やキラのあるパフォーマンスをお楽しみください。また辺りが暗くなり始める頃には盆踊りがスタート。ぜひみんなで踊りませんか。

# 3年分の思いを込めて 高崎まつりを開催

9月3日(土)・4日(日)に、3年ぶりに高崎まつり・山車まつり・技能祭を、また昨年に続き3日に大花火大会を開催します。新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策を徹底して実施します。今回号では、高崎まつりの見どころなどの紹介や、感染症対策についてお知らせします。



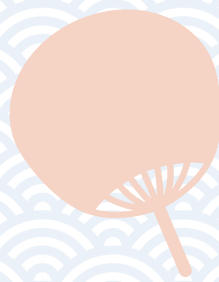
高崎まつりのホームページ



問い合わせ先 高崎まつり・山車まつり…観光課(☎321-1257)  
技能祭…産業政策課(☎321-1255)

2・3ページの写真は、コロナ以前の開催時に撮影したものです

高崎神輿連合や企業の神輿が、9月3日午後2時30分から駅前通りをスタートし、威勢よくまちなかを練り歩きます。4日午後4時30分からは巨大だるまみこしも登場。青年団体によるまじりの披露は見ものです。また、3日・4日の午後7時30分から行われる、連雀町交差点でもみ合いは圧巻です。



神輿渡御の他にも、子どもたちによる「創作だるまみこし」や「子供みこし体験」などを実施します。

## 神輿渡御

### 交通規制

3日午後2時~10時、4日午後2時~9時(駅前通りは2日間とも午後2時~6時)

詳細は、本紙と同日配布の「高崎まつり総合パンフレット」で確認できます。

【注意】無人航空機(ドローンなど)の使用を禁止します。





# 徹底して行います 高崎まつりのコロナ対策

高崎まつりと山車まつり・大花火大会・技能祭は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策を徹底して開催します。神輿や山車の出演者などへのPCR検査や、会場を巡回する見回り隊によるマスクの着用や手指消毒の呼びかけなど、全国でも類を見ない対策を実施。各実行委員会と協力し、参加者や来場者の皆さんにとって安心・安全な祭りとなるよう、準備を進めています。



見回り隊が会場を巡回

ベストを着た見回り隊が会場内を巡回し、来場者にマスクの着用など感染防止の徹底を呼びかける



参加団体のマスク着用を徹底

神輿などの参加団体にマスク着用を徹底。熱中症対策のため、担ぎ手などは10分交代とする



参加団体へ消毒液などを配布

神輿や山車などに参加する団体に、消毒液とマスク、ハンドソープを事前に配布



大花火大会では観覧者の密集を防止

観覧者に1.8m四方のビニールシートを配布。シートの中央に座って観覧することで、密集を避ける



手指消毒液をくまなく設置

会場内の50か所に手指消毒液を設置。来場者の手指消毒を徹底する



出演者にPCR検査を実施

神輿を担ぐ人と山車のお囃子を演奏する人に、PCR検査を実施。陰性が確認された人だけ参加できる

感染拡大防止のため、あらゆる対策を実施します

- 会場内の50か所に来場者用の手指消毒液を設置
- 感染防止対策のため、見回り隊が会場内を巡回。来場者へマスクを配布し、手指消毒の徹底を呼びかける
- 飲食スペースを設置
- 高崎まつり・山車まつり
  - 神輿を担ぐ人と、山車のお囃子を演奏する人全員に対し、市がPCR検査を実施。陰性が確認された人だけの参加とする
- 参加する各団体にマスクと消毒液、ハンドソープを配布
- 神輿渡御や山車の巡行のルートを縮小
- 神輿渡御では、担ぎ手の人数を極力減らし、10分交代とする。神輿の前後は30分以上の間隔を空ける
- 山車の巡行では、山車に上がる人を4人までに制限し、10分交代とする。綱に1.5m間隔で目印を付け、引き手同士の距離を保つ。山車の前後は10分以上の間隔を空ける
- お囃子の演奏を行う子どもと指導する大人に対し、練習の開始日にPCR検査を実施
- 参加者のマスク着用と手指消毒を徹底
- 各参加団体へスタンド型検温機を3台提供
- 神輿渡御や山車の巡行を行っている時は、熱中症防止のための水分補給以外の飲食は行わない
- 露店の出店者にマスクやマウスガード、消毒液を配布
- 大花火大会
  - 観覧の定員は昨年同様、コロナ以前の約4分の1に制限
  - 観覧を事前申し込み制とする
- 観覧場所を指定し、観覧者の密集・密接を避ける
- 観覧者に1.8m四方のビニールシートを配り、観覧者同士の間隔を保つ
- 会場内での飲食・飲酒を禁止とする
- 技能祭
  - 会場の出入口を2か所に限定し、入り口で検温と手指消毒、マスクの着用を徹底
  - 入場者数を制限し、会場内の密集を防ぐ
  - 出展者にマスクと消毒液を配布
  - 金銭のやり取りは、トレーを使って行う

消防や医療機関と連携。熱中症対策も徹底します

祭りでは、熱中症対策も強化します。会場全体の暑さを和らげるため、各所で消防団が消火栓からの散水を実施。救急救命士を含む消防局の「まつり救護隊」は、車いすを持って会場内の巡回を行い、体調不良の人を早期に発見・救護します。また、シンフォニーホールに救護本部を設置し、医師や看護師を配置。市役所やシティギャラリーなど7か所に休憩所も設けます。



▲救護本部では医師や看護師と連携し、体調不良者などを救護

◀4か所の救護所にのぼり旗を設置

## 来場される皆さまへお願い

- ▶ マスクの着用にご協力ください
- ▶ こまめな手指の消毒にご協力ください
- ▶ 体温が37.5℃以上の人は来場を控えてください
- ▶ 歩きながらの飲食はせず、飲食スペースを利用してください
- ▶ 大花火大会では、入場券のない人の観覧エリア周辺や路上での観覧は控えてください
- ▶ かけ声や大声は控えてください
- ▶ ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください